

東日本大震災の影響を考える

2011年5月24日

東日本大震災を契機に北海道を訪れる観光客等が急減している。道内各地の観光施設についても、道内客の自粛ムードもあって、宿泊キャンセル等が相次いでいるという。

しかし、5月14日報告の通り、道内ゴルフ場4月の入場者数は、集計129コースで19万1,501人、前年同月に比べると1万2,507人、7.0%の増加となった。増加となった主因は、稼働日数が前年同月に比べ411日間伸びたことによる。

この結果だけを見ると、「営業日数により入場者数は増減する」という近年のパターン通りとなるが、果たしてそうなのだろうか。大震災の影響、特に道外客の減少があるのではなかろうか。

表は今年のゴールデンウィーク期間中の予約状況を昨年と比較してもらった結果である。

集計108コースのうち昨年より「良い」としたコースが7コース(6.5%)にとどまり、64コース59.3%が「悪い」としている。特に胆振地区で「悪い」という評価が多い。

また、次頁表は4月の道外客推移である。2011年4月の道外客は3,661人、前年と比べると約4,700

人、率にして56.2%と大きく減少している。減少幅が大きいのは胆振・日高、石狩南などで、新千歳空港から近い地区である。案の定、大震災の影響、特に道外客の減少が顕著である。

GW 期間中の予約状況(昨年比)

地区名	コース数	良い	変わらない	悪い
札幌	7	0	2	5
石狩南	18	1	9	8
石狩北	11	2	2	7
空知	17	1	8	8
後志	6	1	3	2
胆振	17	0	2	15
日高	2	0	1	1
渡島	6	0	3	3
上川	7	0	2	5
宗谷	4	1	0	3
網走	6	1	2	3
根室	1	0	1	0
十勝	6	0	2	4
全体	108	7	37	64

留萌、釧路地区は回答がなかった。

日本銀行札幌支店では5月12付で「来道者の減少が道内観光産業に与える影響について」と題する北海道金融経済レポートを発表している。そこでは主に道外客の減少による観光産業への影響と対応、シミュレーションを行っている。詳細は本編をご覧いただきたいが、道内客をどの程度呼び込めば道外客減少に伴う客数および観光消費額への影響を克服できるか試算している。

試算の結果、客数については、観光客全体に占める道内客のウェイトが高いことから道内客を3～4%伸ばすことでカバー可能である、としている。観光消費額については、相対的に消費額単価の高い道外客の減少を補完するには、道内客を2割前後増やす必要があるとしている。

ゴルフ界はいま過酷な状況にあるが、いかなる状況でも活路はあるはず。今後、道外客についての動向を注視して行く。

4月道外客の推移

地区名	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	前年比
札幌	441	281	113	84	115	36.9
石狩南	1,404	2,303	2,286	1,886	761	59.7
石狩北・後志	366	134	206	154	113	26.6
空知	661	411	482	384	174	54.7
胆振・日高	5,934	5,423	3,954	5,046	1,846	63.4
渡島	294	405	277	531	426	19.8
上川・留萌・宗谷	55	53	49	24	37	54.2
網走・釧路・根室	63	118	82	112	55	50.9
十勝	190	244	176	142	134	5.6
全体	9,408	9,372	7,625	8,363	3,661	56.2